

部活動地域移行（部活動の地域移行に向けた環境整備事業） 主要事業 令和5年度報告

1 千葉県部活動地域移行実行委員会

令和4年度に発足した千葉県地域部活動検討委員会を、具体的な動きを目指し再編成。
構成：保健体育課（事務局）、学習指導課、生涯スポーツ振興課、競技スポーツ振興課
文化振興課、県スポーツ協会、県スポーツ少年団、県スポーツ推進委員連合会
県小中体連、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
○委員会5回開催、市町村担当者連絡協議会2回開催、他

2 実証事業

	地域	実施主体	取組概要	実証
1	千葉県	千葉県教育委員会	県立中学校で1部活の地域移行。運営団体を設立して8月以降の活動開始を目指す。	高等学校部活動との連携の在り方、新たな財源利用方法を検証し、県内に広く共有する。
2	葛南	八千代市	市内1部活を地域移行。並行して4部活動において、部活動指導員を配置。成果と課題を洗い出す。	ICTを活用しながら指導員の負担軽減や生徒・保護者の利用のしやすさ、連絡手段等を構築。
3	東葛飾	流山市	市内5部活動を地域クラブとして移行。コーディネータ業務を充実させ、受け皿確保、指導者の配置。	実施主体への助成、指導者資格の付与や研修実施、オンライン推進、保険や安全対策制度づくり。
4	北総	佐倉市	市内1部活動、年間28回を目安に実証の場とし、事例収集。	地域移行費用や働き方改革への影響、生徒や保護者の意識や課題等を調査研究委託をし、検証。
5		成田市	9月から市内1部活動（柔道）で地域クラブを実施。年間28回を保護者の費用負担なしで実施。	R6実施種目拡充を前提とし、教員の勤務時間調査、生徒保護者向けのアンケートで課題掌握。
6	東上総	山武市	市内1部活動（剣道）を休日地域移行。指導者をスポーツ団体（剣友会）に協力依頼。	指導者や参加生徒の管理、非常時や生徒指導対応を整理。民間に委託した際の費用検証。
7		睦沢町	1中学校2種目を地域移行（継続）。活動内容の充実と種目拡充を目標として活動。	総合型地域スポーツクラブとの連携を確立。地域の保護者の意識改革を推進。
8	南房総	袖ヶ浦市	市内全5中学校から参加型拠点クラブ2種目（陸上・野球）。各学校の実情に合わせ月1～2回。	アンケートによる課題把握。社会体育施設や学校施設開放と連携。場所や施設活用方法を確立。
9		鴨川市	市内全3中学校で、それぞれ1部活動を地域クラブとして移行。10月の活動開始を目指す。	教員（顧問）の勤務時間調査を実施。地域移行が働き方改革に資する効果と課題を検証。

3 千葉県広域人材バンク設置

「ちばクラサポ」（千葉県地域クラブ活動等指導者人材バンク）の運用を12月1日から開始。県内約5300名の公認有資格者への登録要請を、県スポーツ協会へ委託。
○679名登録（3月8日現在）

4 地域指導者講習会

指導者資質の向上を目指し、県内プロスポーツチームと連携し指導者講習会を実施。午前は中学生への実技指導の参観、午後は講義（コンプライアンス、指導理論等）。
○バスケットボール（千葉ジェッツ）26名、野球（千葉ロッテマリーンズ）40名参加。

5 コーディネーター配置

市町村が地域移行に必要な協議会の設置や運営団体等の整備、指導者の配置などに向けて、必要な関係者との連絡調整・指導助言等を行うコーディネーターを配置。
○各教育事務所に1名計5名（運動部）、学習指導課に1名（文化部）を配置。
週1～2日勤務、市町村への助言他、各種説明会や協議会等に参加。